

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	履修学年	中学 高校	1年	1	組	
単位数	4単位	使用教科書 補助教材等	数研出版 NEXT数学Ⅱ						
担当者	長尾		数研出版 CONNECT数学Ⅱ+B						
			数研出版 チャート式Ⅱ+B						
学習目標	数学Ⅱの内容を学習していく中で、「知識・技能」の習得、「思考・判断・表現」力の養成、「主体的に学習に取り組む姿勢」の育成を目指す。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	・ 授業や教科書などで学んだ数学的な内容や公式などを理解している。 ・ 問題に対し、学んだ数学的知識を利用して適切な計算をすることができる。		・ 文字式や関数・方程式などの知識などを活用し、それらを組み合わせて論理的に考察することができる。 ・ 自分の考えや解法を正しく表現することができる。 ・ 採点者に分かりやすい解答を作成できる。			・ 宿題にコツコツ取り組むなど、粘り強く学習に取り組んでいる。 ・ 粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習をより良く調整できるように意識している。			
各観点の授業内 評価方法等	①定期考査1枚目(基本問題) →教科書の例題や問題集のA問題などを中心に出題し、公式が正しく使えるか、正確に計算が行えるかを問う。 ②授業内外の小テストなど		①定期考査2枚目(応用問題) →教科書の応用例題や問題集のB、C問題などを中心に出題し、難易度の高い問題に対して最適な思考を行い、自分の考えを分かりやすく解答できるかを問う。			①宿題の取り組み・提出状況 ②より良い学習への取り組み・振り返り			
学期末の 各観点比率(%)	50%		30%			20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	【数学Ⅱ】第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円					約16	中間考査	到達度確認テスト①
	5	中 間 考 査							
	6	第3節 軌跡と領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数					約16	期末考査	
		期 末 考 査							
	7	第2節 加法定理 6 加法定理					約8		
	8	【夏期講習会】 【夏休みの課題】							
2	9	7 加法定理の応用 第5章 指数関数と対数関数					約16	中間考査	到達度確認テスト②
	10	中 間 考 査							
	11	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 導関数の応用					約20	期末考査	
		期 末 考 査							
	12	演習					約8		
【冬休みの課題】									
3	1	第3節 積分法					約20	学年末考査	
	2	学 年 末 考 査							
	3	【春期講習会】 【春休みの課題】							

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	履修学年	中学 高校	1 年	2～4 組		
単位数	4	使用教科書 補助教材等	数研出版 NEXT 数学Ⅱ						
担当者	樋田/竹田/林		数研出版 CONNECT 数学Ⅱ+B						
学習目標	図形と方程式、指数関数・対数関数・三角関数および微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにする。それとともに、やや発展的な問題にも取り組めるような力を育てる。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	授業および教科書を通して学んだ基本的事項や原理法則等を理解している。また、問題に対して学習した内容の理解および知識利用して、数学的な処理ができる。		数や式、グラフ、図形等の知識・技能を活用し、それらを組み合わせて諸問題に対応しようとしている。また、自分の考えや解法を正しく表現・説明しようとしている。		知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、積極的に授業に参加したり諸問題に粘り強く取り組みを行おうとしている。				
各観点の授業内 評価方法等	主に、定期考査100点のうち、基本問題を60%程度出題し、知識・技能の習熟度合いを評価する。その点数を3/4に圧縮し45%とし、小テストによって10%を評価する。		習得した知識・技能を様々な問題に活かせるかを図るため、定期考査では40%程度出題する。その点数を3/4に圧縮し30%を評価する。		理式・技能、思考力・判断力・表現力を身につけるため、粘り強く取り組んでいるかを評価する。そのためには、普段の授業に対する取り組みや、提出物、小テスト等を総合判断する。				
学期末の 各観点比率(%)	55%		30%		15%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	【数学Ⅱ】 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円					18	1 学期 中間 考査	到達 度 確 認 テ ス ト ①
	5	中間考査							
	6	第3節 軌跡と領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数					17	期 末 考 査	
	7	期 末 考 査							
2	8	第2節 加法定理 6 加法定理					8	2 学期 中 間 考 査	
	9	7 加法定理の応用 第5章 指数関数と対数関数							
	10	中間考査					17		
	11	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 導関数の応用							23
12	期 末 考 査								
3	1	演習					8	学 年 末 考 査	
	2	第3節 積分法							
	3	学 年 末 考 査					20		

教科名	数学	科目名	数学B	履修学年	中学 高校	1年	1	組	
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	数研出版 NEXT数学 I, II, B						
担当者	長尾		数研出版 CONNECT数学 I+A, II+B 数研出版 チャート式 I+A, II+B						
学習目標	数学 I, II, B の内容を学習していく中で、「知識・技能」の習得、「思考・判断・表現」力の養成、「主体的に学習に取り組む姿勢」の育成を目指す。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 授業や教科書などで学んだ数学的な内容や公式などを理解している。 問題に対し、学んだ数学的知識を利用して適切な計算をすることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 文字式や関数・方程式などの知識などを活用し、それらを組み合わせて論理的に考察することができる。 自分の考えや解法を正しく表現することができる。 採点者に分かりやすい解答を作成できる。 			<ul style="list-style-type: none"> 宿題にコツコツ取り組むなど、粘り強く学習に取り組んでいる。 粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習をより良く調整できるように意識している。 			
各観点の授業内 評価方法等	①定期考査1枚目(基本問題) →教科書の例題や問題集のA問題などを中心に出題し、公式が正しく使えるか、正確に計算が行えるかを問う。 ②授業内外の小テストなど		①定期考査2枚目(応用問題) →教科書の応用例題や問題集のB, C問題などを中心に出題し、難易度の高い問題に対して最適な思考を行い、自分の考えを分かりやすく解答できるかを問う。			①宿題の取り組み・提出状況 ②より良い学習への取り組み・振り返り			
学期末の 各観点比率(%)	50%		30%			20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	【数学II】第1章 式と証明 第1節 式と計算					約8	中間考査	到達度確認テスト①
	5	中間考査							
	6	第2節 等式と不等式の証明					約8	期末考査	
		【数学II】第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 期末考査							
	7	第1節 複素数と2次方程式の解(続き)					約4		
8	【夏期講習会】 【夏休みの課題】								
2	9	第2節 高次方程式 【数学I】第5章 データの分析					約8	中間考査	到達度確認テスト②
	10	中間考査							
	11	【数学B】第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列					約10	期末考査	
		期末考査							
12	第2節 いろいろな数列(続き)					約4			
		【冬休みの課題】							
3	1	第3節 漸化式と数学的帰納法					約10	学年末考査	
	2	学年末考査							
	3	【春期講習会】 【春休みの課題】							

教科名	数学	科目名	数学B	履修学年	中学 高校	1年	2～4	組	
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	数研出版 NEXT数学 I, II, B						
担当者	渡辺		数研出版 CONNECT数学 I+A, II+B						
学習目標	数学 I, II, B の内容を学習していく中で、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにする。それとともに、少し難しい問題に対してもあきらめずに挑戦する気持ちを育てる。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	教科書に記載されている数学的な事実、解法の意味を理解して習得する。また、習得した解法等を用いることで、自力で基本的、典型的な数学の問題解決を図ることができる。		獲得した知識・技能の組み合わせることで、より高度な数学の問題解決をすることができる。また、他者に誤解なく伝わる表現（口頭または記述での説明や論証）で数学的な思考を伝えることができる。			学びの質を高めるために振り返りにより教訓を抽出し、それを次の学びに活かし学び方を改善しようと努力することができる。また、学びそのものを粘り強く継続して取り組むことができる。			
各観点の授業内 評価方法等	①定期考査1枚目（基本問題） →教科書の例題や問題集のA問題などを中心に出題し、公式が正しく使えるか、正確に計算が行えるかを問う。 ②授業内外の小テストなど		②定期考査2枚目（応用問題） →教科書の応用例題や問題集のB、C問題などを中心に出題し、難易度の高い問題に対して最適な思考を行い、自分の考えを分かりやすく解答できるかを問う。			①宿題の取り組み・提出状況 ②より良い学習への取り組み・振り返り			
学期末の 各観点比率(%)	60%		20%			20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	【数学Ⅱ】第1章 式と証明 第1節 式と計算					約9	中間考査	到達度確認テスト①
	5	中 間 考 査							
	6	第2節 等式と不等式の証明 【数学Ⅱ】第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解					約8	期末考査	
		期 末 考 査							
	7	第1節 複素数と2次方程式の解（続き）					約4		
8	【夏期講習会】 【夏休みの課題】								
2	9	第2節 高次方程式 【数学Ⅰ】第5章 データの分析					約9	中間考査	到達度確認テスト②
	10	中 間 考 査							
	11	【数学B】第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列					約11	期末考査	
		期 末 考 査							
12	第2節 いろいろな数列（続き）					約4			
		【冬休みの課題】							
3	1	第3節 漸化式と数学的帰納法					約10	学年末考査	
	2	学 年 末 考 査							
	3	【春期講習会】 【春休みの課題】							

教科名	数学	科目名	数学 I	履修学年	中学・ 高校	1 年	5～7	組	
単位数	4 単位	使用教科書 補助教材等	教科書： 数研出版 NEXT数学 I， NEXT数学 II 問題集： 数研出版 CONNECT数学 I +A， CONNECT数学 II +B						
担当者	長尾， 府川								
学習目標	高校数学の基礎となる数学 I をしっかりと身につけ， 今後の数学に耐えうる基礎力を養う。 数学の解答の書き方を学び， 答えにたどり着く過程をしっかりと記述できるようにする。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 授業や教科書などで学んだ数学的な内容や公式などを理解している。 問題に対し， 学んだ数学的知識を利用して適切な計算をすることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 公式をそのまま利用するだけでは解けないような問題に果敢に挑戦できるか。 途中過程などを含めて， 数学の答えを記述できているか。 			<ul style="list-style-type: none"> 宿題にコツコツ取り組むなど， 粘り強く学習に取り組んでいる。 粘り強い取り組みを行う中で， 自らの学習をより良く調整できるように意識している。 			
各観点の授業内 評価方法等	①教科書の例題や問題集のA問題を定期試験で出題し， 公式が正しく使えるか， 正確に計算が行えるかで評価する。 ②授業内外の小テスト等		①教科書の応用例題や問題集のB問題を定期試験で出題し， 難易度の高い問題に対し最適な思考を行い， 自分の考えを分かりやすく解答することができるかで評価する。			①宿題の取り組み・提出状況 ②より良い学習への取り組み・振り返り			
学期末の各観点比率 (%)	50%		30%			20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	【数学 I】第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数 第3節 1次不等式					18	1 学期 中間 考査	
	5	第3章 2次関数							
	6	第1節 2次関数のグラフ 第2節 2次関数の値の変化					16	1 学期 期末 考査	
	7	第3節 2次関数と2次方程式 5 2次方程式 6 2次関数のグラフとx軸の位置関係							
	8	夏期講習会 夏休みの課題							
2	9	第3章 2次関数 第3節 2次関数と2次方程式 7 2次不等式 第4章 図形と計量					18	2 学期 中間 考査	第1 回 到達 度 確 認 テ ス ト
	10	第4章 図形と計量 第2節 三角形への応用							
	11	【数学 II】第1章 式と証明 第1節 式と計算					22	2 学期 期末 考査	
	12	演習 冬休みの課題							
3	1	第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式					20	学 年 末 考 査	第2 回 到達 度 確 認 テ ス ト
	2	第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式							
	3	春季講習会 春休みの課題							

